

草取り作業は一段落



暑中お見舞い申し上げます。

今年は各地で集中豪雨が頻発しました。

暑中お見舞いと共に皆様に豪雨被害のないことを祈りながら2つのお見舞いを申し上げます。

秋田の私たちの近辺は、豪雨被害

もなく、6月7月共に、湿気のない近年には珍しい清々しい好天に恵まれました。種まき田植えまでの低温悪天候で、初期の成長が悪かった稲も、この好天のおかげですこぶる順調です。

上のスナップは、草取りに来てくれている女性の皆さんが、10時の休憩のため田圃から上がって、用水路で手足を洗っているところです。

手取り草取りは、熟練者でないとできません。ですので、我が農舎の女性もほとんどが60歳以上で、80歳に近い方もいらっしゃいます。

実際に作業を行うと若い女性よりも、「年の功」高齢の方が上手です。

今年も、田植えが終わって、1週間から10日して稲の根付きを待って、除草機を掛け、その直後から手取りの草取り作業をスタートしました。

パートの女性は、高齢化によって年々メンバーは減り、今年は10人余りと、かつての3分の1になりました。

メンバーが多かった時期は、我が家の田圃だけでなく、有機栽培をする近隣の農家の田圃を行き来していました。

しかし、今年は6月10日過ぎの手取り除草スタートからほとんど連日（日曜日の休み以外）、我が家の田圃専属の形になりました。

また、手取り除草は、7月末に田圃の水を落とし、土が固くなるまで10日余りの間作業を中断します。人手不足で、全部の草を取り切ることではできませんでしたが、とりあえず今年の前半の草取りは一旦終了・一段落となりました。

後半の草取りは、田圃が乾いて固くなるのを待って再開しますが、天候が悪いと、お盆過ぎまでの休戦を余儀なくされます。

草は残りましたが、今年は稲の生育が良いので、秋を楽しみにしています。

なお、新米の出荷スタートは10月20日頃になる予定です。

提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

ライスロッジ大潟 代表 黒瀬 正

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887



E-mail: akita@kurose.com

Web:

提携米 黒瀬農舎

検索

馬場目川源流部にブナを植えて20年目

私たちの田圃を潤す水。

その水の源・馬場目川源流部の国有林にブナを植えて、今年は20年目。最初に植えたブナも大きくなり「ブナ林」の風情が出ています。



下刈り作業は順調に行えました。
2012.07.03

田植えが一段落して、草取り作業の合間を縫って、昨年秋に植えたブナの下刈りに山に行きました。

山の作業は、雨が降らなければ、暑い日であっても、平地よりも「爽快」のように想像される方が多いと思いますが、実際は真逆。

この梅雨時期の山は湿気が多く、草いきれで過酷な作業になります。

ところが、今年の秋田の7月は、ほとんど雨

なく、空気は秋のように澄み、この日の山は、湿度もなく例年とは一変して心地よい作業となりました。

昨年秋に植えたブナは、苗が悪かったことに加えて、冬に積雪が多く、5月下旬まで低温が続いた上に、その後、気温は上がったものの雨が少なかった為に、ブナの生育は思わしくありませんでした。

でも、活着率は70%を超しており、今後の手入れ次第で例年通り大きく育ってくれると思われました。



ブナに付けている赤いテープは下刈り作業でブナを切らない為の目印。

今年のブナ植えは、20年目の節目の記念すべき年となります。

以下のような日程で「ブナ植の集い」を行います。10年前、20年前にブナ植えに参加下さった方、初めての方、是非ご参加ください。

第20回 秋田ブナを植える集い日程予告

平成24年11月2日（金）～ 3日（土・文化の日）

11月2日 午後 20周年記念講演会 五城目町・五城館

「森は海の恋人」の畠山重篤さん

馬場目川源流部のブナを植える運動は、気仙沼のカキ養殖漁民である畠山さんが中心に始めた森の再生運動に呼応してスタートしました。

気仙沼の運動は4年前に20周年を迎えており、畠山さんは4年先輩の指導者です。

11月3日 8:30 ブナ植え受付（五城目町役場） 現地へ

今年は、20年前に植えたブナの観察会も行い17時頃解散予定

☆最近、各航空会社共に55日前78%OFFなどの大幅割引の早割切符を出しています。（例えば 大阪→秋田 33,000円が55日前予約だと13,900円と超経済的です。）

☆細部に変更があっても基本日程は上記通りです。航空券などは早めに購入下さい。

☆2日の夜は、黒瀬農舎ロッジで前夜祭を行います。ロッジ宿泊は、15名まで受け付けます。前後日の宿泊もOKです。